

2/28/93

論說

2021·7·28

接種しない人に配慮を

ワクチン証明書

接種証明書が感染拡大防止に効果的でも、国内での利用は、検査による陰性証明に併用するなど、接種しない人に十分配慮しつつ慎重に運用すべきだ。政府には、人権に配慮した証明書の活用ガイドラインを示すよう求めたい。

接種後もマスク着用や手指の消毒など、基本的な感染対策は必要だ。新型コロナ感染が再び拡大する中、政府はいま一度、感染対策の必要性を訴えるべきである。

立て直しは急務だ。
同時に、接種しない人や健康上の理由などで接種できない人への差別につながらないか心配だ。
接種は個人の判断に委ねられては当然。しかし、いつ感染がどうなるか、未だ予測不可能な現状では、接種は個人の判断に委ねられては危険だ。

要がある。

口か迷途で申請する。
現段階ではイタリアやオーストリアなど五カ国が対象で、対象国は順次、増える見通し。
ただ、証明書があつても日本へ

接種情報を管理する市町区の器
具は、主に

新規登録
MD-15

新規登録
既存カード登録
既存登録

新規登録
既存カード登録
既存登録

新規登録
既存カード登録
既存登録

で渡航を希望する人でないで、活動していながら利点がある。政府は正面、紙で証明書は写真式例へと變じて、これは不思議である。

入国時の検査や隔離措置を免除する国がある。ビジネスや留学など

機械を受いたい人が探院されない
運用方法を検討すべきだ。

職場でいるか、国内での経済活性化に活用したいとの声も上がる。接種を受けない人が非余裕マーケ

付けが各自治体で始まった。政府は海外渡航目的での発行に

接種を受けた人に発行する証明書（ワクチンパスポート）の申請受

新型コロナウイルスのワクチン

詭
詭
說
說